

高校公民プリント（過去問類似）
公共（2025年～の共通テスト本試験） No.1

名前

得点

/10

問1 日本の裁判所が持つ違憲審査権の行使をめぐり、民主的に選出された国民代表機関である国会の判断を尊重し、裁判所による違憲判断は極めて慎重に行われるべきであるとする立場を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 罪刑法定主義 2. 司法積極主義 3. 違憲審査基準 4. 司法消極主義

問2 労働者が使用者との対等な交渉力を確保し、労働条件の維持改善を図るために自主的に組織する団体であり、その加入割合を示す指標の国際比較において、日本とドイツのように同水準であっても1時間当たりの労働生産性に大きな差が見られることから、その組織率の違いが直接的に生産性の高低を決定づけるわけではないとされる組織は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 労働金庫 2. 労働組合 3. 共済組合 4. 職員団体

問3 6世紀に百済から日本に仏教が伝来した当初、人々は仏を在来の神々とは異なる「異国の神」として認識し、神の一種として受け止めた。このような、伝来初期における仏の呼び名として最も適当な用語を答えよ。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 他神 2. 蕃神 3. 国神 4. 垂迹

問4 日本の刑事司法において、冤罪による人権侵害を防ぎ、誤った裁判から被告人を救済するための制度が設けられている。すでに裁判が終了して判決が確定している場合であっても、その事実認定に合理的な疑いを生じさせるような新たな証拠が発見された場合などに、有罪の言い渡しを受けた者の利益のために裁判をやり直すことができる制度を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 控訴 2. 再審 3. 保釈 4. 起訴

問5 ある地方自治体が市営体育館の起工式において、神職を招いて行った儀式に公金を支出したことの是非が争われた。最高裁判所は、この儀式が宗教的活動にあらず世俗的な行事であるとして、政教分離原則に反せず合憲であるとの判断を下した。この一連の裁判を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 空知太神社訴訟 2. 愛媛玉串料訴訟 3. 津地鎮祭訴訟 4. 箕面忠魂碑訴訟

問6 全体主義の起源を分析したことで知られる20世紀の思想家は、古代ギリシャのポリスにおける市民の生を手がかりに、人間の営みを3つに分類した。生命維持のための「労働」や、道具や作品を製作する「仕事」に対し、言葉を通じて他者と関わり合い、自由な公共空間を形成する営みの重要性を説いた、著書『人間の条件』で知られるこの人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アーレント 2. ハーバーマス 3. シュミット 4. ノージック

問7 近代の市民社会において、人々は封建的な束縛から解放されて自由を手に入れたものの、それによって生じた孤独や不安に耐えかねて、強大な力を持つ指導者に依存し、その意志に同調・追随してしまう傾向があることを指摘し、ナチズム台頭の心理的背景を解明したドイツの社会心理学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. オルテガ 2. ミルズ 3. フロム 4. リースマン

問8 近年の世論調査において、多くの年齢層で時間のゆとりが減少していると回答する割合が増加するなか、仕事と個人生活の調和を図り、多様な生き方を選択できるようにするための取り組みや考え方を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ディーセント・ワーク 2. ワーク・ライフ・バランス 3. ノーマライゼーション 4. ワーク・シェアリング

問9 近年、インターネットを通じて不特定多数の人々から新規事業などのための資金を募る手法が普及している。この手法は、調達した資金について返済する義務を負わず、事業の業績にかかわらず、資金提供者に対してあらかじめ約束した商品やサービスなどの特典を提供する特徴を持つ。この資金調達的手法を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. クラウドファンディング 2. コマーシャルペーパー 3. エクイティファイナンス 4. プロジェクトファイナンス

問10 日本の国税のうち、個人の所得に対して課され、課税対象額が大きくなるほど高い税率が適用される、所得再分配機能の中心的な役割を担う直接税は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 所得税 2. 法人税 3. 贈与税 4. 相続税

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 4 司法消極主義	民主主義社会において、法律を制定する国会は国民から直接選挙で選ばれた代表によって構成されている。これに対し、裁判官は民主的基盤が直接的ではないため、裁判所が国会の立法行為を容易に違憲と判断することは、議会制民主主義の原則に反する恐れがある。そのため、違憲審査権の行使を慎重にとどめるべきだとする考え方が生じる。これに対し、少数者の人権擁護などの観点から積極的に違憲審査を行うべきだとする立場は司法積極主義と呼ばれる。
問2	答え 2 労働組合	労働者が主体となって組織する団体を労働組合と呼ぶ。労働組合組織率と労働生産性の間には直接的な因果関係は認められず、組織率が同水準であっても国によって労働生産性に大きな開きがある。これは、労働生産性が技術水準や産業構造、労働慣行など多様な要因に影響されるためである。
問3	答え 2 審神	仏教が日本に伝来した当初、人々は仏を在来の神々とは異なる異国の神として認識し、これを「となりのくにのかみ」あるいは「あだしくにのかみ」などと呼び、漢字では「審神」と表記した。これは、仏教を既存の神祇信仰の枠組みの中で理解しようとした初期の受容形態を示している。その後、神と仏を融合させる神仏習合の動きへと発展していった。
問4	答え 2 再審	刑事裁判の確定判決に対して、事実認定の誤りを正し、無辜の者を救済するために設けられた非常救済手続である。有罪判決を受けた者の利益のためにのみ請求が認められており、新証拠の明白性などが厳格に審査される。
問5	答え 3 津地鎮祭訴訟	最高裁判所は、国家と宗教との関わり合いが、社会の慣習に照らして許容される限度を超える場合にのみ政教分離原則に反するとする「目的効果基準」を採用した。本件の起工式（地鎮祭）への公金支出については、その目的が世俗的であり、特定の宗教を援助・助長する効果を持たないとして合憲と判断した。
問6	答え 1 アーレント	『全体主義の起源』や『人間の条件』を著したハンナ・アーレントは、ナチズムなどの全体主義が台頭した背景に、人々が私的な領域に閉じこもり、公共的な関わりを失った「大衆社会」の成立があると考えた。彼女は、言葉と行為を通じて他者と関わり合う「活動」の場としての公共空間の再建を訴えた。
問7	答え 3 フロム	精神分析学の知見を用いてファシズムの心理的社会的背景を分析した。近代人が自由の重圧に耐えかねて、自ら進んで権威に服従する「権威主義的パーソナリティ」を明らかにし、民主主義社会における大衆の心理的危機を警告した。
問8	答え 2 ワーク・ライフ・バランス	近年の意識調査では、時間のゆとりが減少していると感じる人が増えており、自由時間の過ごし方にも変化が見られる。このような背景から、労働時間の短縮や多様な働き方の推進を通じて、仕事と私生活（家庭、地域活動、自己啓発など）の調和を実現する「ワーク・ライフ・バランス」の重要性が指摘されている。
問9	答え 1 クラウドファンディング	インターネットの普及を背景に登場した、新しい資金調達的手法である。銀行融資（間接金融）のような元本返済や利子支払いの義務がなく、株式発行（直接金融）のような配当の分配や経営権の譲渡も必要としない。その代わりに、資金提供者に対してあらかじめ設定した商品やサービスなどの特典（リターン）を提供する仕組みとなっている。
問10	答え 1 所得税	個人の1年間の所得に対して課される直接税であり、納税者の担税力（税を負担する能力）に応じて税率が高くなる超過累進税率が採用されている。これにより、貧富の格差を是正する役割を果たしている。一方、消費税などは税率が一律であるため、低所得者ほど負担割合が大きくなる逆進性がある。